

映画

遙かな町へ

倉吉ノスタルジー

倉吉で来月インバウンドツアー

谷口作品を体験

遙かな町へタイムトリップ。鳥取市出身の漫画家・故谷口ジローさんが描いた同名漫画の舞台となった倉吉市のまちなみを巡るインバウンド（訪日客）向けツアーが、来月から始まる。市内に今なお残る昭和レトロの風情と地域の食文化を融合させた内容。今夏、原作実写化に向けた映画撮影が行われたばかりで、ロケ地を巡る「ロケーションツアー」が本格始動する。

（井田慎一）



白壁土蔵群内を散策するステファニーさん（右から3人目）ら＝9月19日、倉吉市東仲町（認定NPO法人未来提供）

ツアーを企画したのは、同市内でウォーキングイベントなどを手がける認定NPO法人未来（岸田寛昭理事長）。芸術性が高くフランスをはじめ、欧州で人気の谷口作品を誘客の起爆剤につなげる。観光庁の地方創生プレミアムインバウンドツアー事業補助金を財源に実施する。

受け入れ期間は11月～来年2月。白壁土蔵群や小川家庭園「環翠園」などがある成徳・明倫両地区を中心にガイドと巡るほか、伝統工芸はこた人形」の絵付けなど数種類の体験プログラムを用意する。来日する観光客の滞在日数に合わせて内容を調整する。

市内の飲食店から好きな4

昭和レトロ×食文化 誘客へ起爆剤期待

店舗で利用できるクーポンも発行。自由に食べ歩いて、倉吉の食文化にも触れてもらう。

同NPOは9月中旬に、フランス人インフルエンサーのステファニー・コロインさんらを招待。行程を先行視察してもらい、「とても魅力的」との評価を得た。ステファニーさんのSNS（交流サイト）では、白壁土蔵群で撮影した写真に500件を超える「いいね」が寄せられた。

さらに12月には、谷口作品のフランス語訳などを手がけたフランス人アニメ研究者のイラン・グエンさんによる立食パーティー付きの講演会を鳥取県立美術館（同市駄経寺町2丁目）で予定。ツアーを内外にアピールする。同NPOの岸田理事長は「歴史や文化、食は倉吉一番の強みで、歩いて回ることが出来るエリアに魅力が集中している。直接巡ることで『遙かな町へ』のファンの再訪につなげたい」と意気込む。

映画『遙かな町へ』日本海新聞（2025.10.14_20面掲載）